





今夜は先輩の家に  
お呼ばれし、  
お酒と奥さんの手料理を  
ごちそうになっていた。  
喜ば盛り上がり、先輩と  
僕はとても良い気分にな  
っていたその時、  
事件は起こった。

あなたあゝ♡  
さ、そろそろ  
どつかしらあゝ♡

奥さん♡  
そんなに僕とやりたかつた  
んですかあ？こんなムチムチ  
ボディ先輩一人占めなんて  
許せませんねえ♡

夫が寝ている前で、  
私、こんな

あなた...  
ごめんない



え...

川○を眠らせ、その前で  
夫と淫乱セックスをする計  
画だったミ○エ。しかし、  
間違えて夫に睡眠薬を飲ま  
せてしまった。先輩の奥さ  
んのドスケベな姿を見た川  
○は欲情。前から、抱いて  
いたミ○エへの想いが爆発  
する。即座に肉棒を生挿入  
する。その夜、家には三人の腰  
を打ち付ける音が鳴り響い  
た...

「奥さん、この距離さすがにやばくないですか？」

「大丈夫。旦那には超強力睡眠薬のませてるから」

「そんなんですか？先輩にはわるいですけど。心置きなくこの生チンポを入れちゃってオツケーなんです。僕らが愛し合ってるなんて知らずに大きいびきかいてますよ。」

「あ……すごい♡川さんの大きなチンポごしに夫が……」

「そうですよ♡どうですか？こんな状況でも奥さんは快楽が欲しいんでしょう？この生チンポでズコスコ入れられたいんでしょう？」

「え？……う……うん♡」

「そうでしょ？先輩の極小チンコなんかより僕の特大フル勃起チンポ入れて気持ちよくなりたいですよね♡」

「もちろん♡川さんの特大フル勃起チンポほしいわ♡旦那のチンコなんて飽き飽きしてたの。あ♡見れば見るほど惚れ惚れしちゃう♡早くその大きなおちんぼ私のおマ○コに入れて♡お願い♡」

「ほらほら  
奥さんこれが欲しいんでしょ？」

「はあ♡あつ……  
当たってる……大事な所に  
川●さんのおちんぽが……  
そんなことしたら……  
がまんできない……」

「奥さんの大事な所に  
一番近いのは旦那じゃない  
男のちんぽですよ？」

「はん♡だめえ♡  
そんなこと言われたら私……  
濡れちゃう……ああ」

「旦那の会社の後輩が  
おマ○コに入れようとしてるんですよ。  
しかも旦那の目の前で」

「欲しい、欲しい……  
旦那じゃない……  
川●さんのおちんぽが……  
突つついて……私……  
変になつて……」



「あららら、奥さん、もう濡れ濡れじゃないですかあ？肉棒当てただけでこの反応。奥さんどれだけSEX好きなんですか？」

「はあん♡ああ…だめ…あ…あ…入れて、川●さん♡お願い…川●さんのおちんほ欲しくてたまらないの…」

「え？どうなっても知らないですよ」

「いいの。どうなっても。川●さんのおちんほで激しくされればそれでいいから…川●さんは心配しないで…下からズコズコ突いて♡」

「そんな突いちゃったら、射精しちゃいますよ？」

「いいわ♡出して。中に♡ドロッドロな精子おマ○に直接中出しして欲しいの♡川●さんなら私受け止めるわ…」

「そうですか？そのまま言うなら…」



「んはあ・・・はあ・・・ああん♡・・・  
入って・・・入・・・ってる♡  
川●さんのズッポリ入っちゃてる・・・  
ああん♡・・・こんな・・・体勢で  
私・・・旦那の前なのに・・・」

「奥さんどうですかあ？  
旦那の前で入れるちんぽは。」

「きっ・・・気持ち良い・・・♡  
はああん♡・・・あん♡・・・あん♡」

「気持ち良いんですか？  
奥さん、ドすけべですなあえええ  
こんな状況でそんなHなあえええ声出して。  
中が濡くれ濡れですよ。そんなに  
気持ち良くなったら、そんなに  
先輩がかわいそうじゃないですか。」

「ああん♡だつて・・・本当に・・・  
気持ち良いのに・・・」

川●さんのすっごく太くて  
刺激的だから・・・♡  
おマ○コすっごく気持ち良いの♡  
はあん♡そう・・・♡  
もっとな・・・もっとな突いて♡  
いっばい、いっばいおちんぽ  
出し入れしてえー♡」

「そう♡川●さん・・・  
スキよ♡・・・  
愛してるわ・・・♡  
デカ○ラの川●さんに一生私、  
突かれないの♡旦那なんか  
どうでもいい♡旦那やっつて・・・  
川●さんにジュボジュボされたの♡  
はあん♡川●さん♡愛してるわあ♡」

「奥さん、こんなにすきものだとはねええ。  
そりゃあ、こんな  
甲斐性なしのちんけなチンコより  
若いデカ○ラぶち込まれる方がいいですよねえ。」

又キョ♡  
又キョ♡







ハイ！  
ジャバニーズメン  
みりちゃんイケッ  
だから犯す。OK？

これだけイイカラダ  
一人だけのモノ  
良くないね？みり  
ちゃんもボクのペニ  
スキっとほしい。  
OK？

最近、この町に移住してきた口ルト。  
人並みはずれた性欲の持ち主である彼は、  
その日も町の女性を物色していた。  
たまたま通りかかった幼稚園を覗くとそこには  
園児と戯れる若い女性の姿が。そのタイトな服  
装からくっきりと分かるムチムチなボディライ  
ン。油断しきった下半身にはパンティラインが  
ばっちり浮き上がっていた・・・。

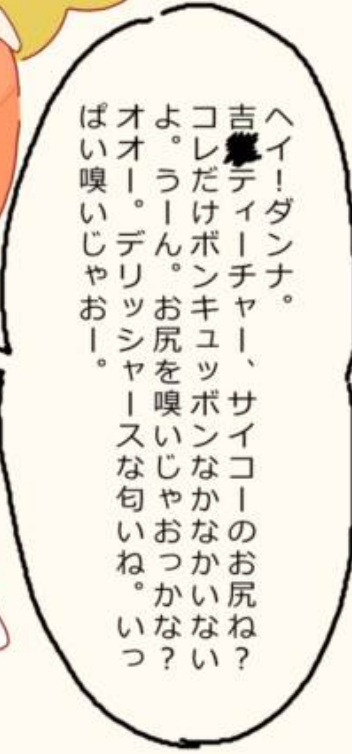
「あのケツを犯したい」  
彼の頭の中はその事  
でいっぱいだった・・・

そして、彼は幼稚園の  
先生であるミりの帰  
りをつけ、自宅に入る  
ところを襲い犯行に及  
ぼすとした。すると、  
彼女は新婚らしく後か  
ら、夫が帰宅してきた  
のだ。彼の両手両足を  
縛り、身動きが取れな  
い所でのいよいよ犯行は  
開始された・・・。



ヘイ、ダンナ。  
なに怒ってんの？  
今から、吉~~子~~ディーチャー  
ワタシの女って言ってるんで  
しょ？アムダスタード？  
今からワタシタチ、恋人タ  
イムよ。静かに見てなきゃ  
I。OK？

ヘイ！ダンナ。  
吉~~子~~ディーチャー、サイコーのお尻ね？  
コレだけボンキュッボンなかないない  
よ。うーん。お尻を嗅いじゃおっかない？  
オオー。デリッシャー。スな匂いね。いつ  
ばい嗅いじゃおー。







ワタシも  
このパンティ姿見ながら  
オナニーしたいね。  
このパンティ姿、ピクチャーにして  
あなたのファンに配ったら  
みんな毎日オナニーするよ。  
ダンナさんもそう思うでしょ？

おお。吉~~ク~~ティチャーの  
パンティ！純パークのパンティ、  
サイコーね！ズボンの下に  
こんなビューチフルなものまどつて  
たのねー。きっと、あなたのファン  
コレ見たくていつもオナニーしてるよ。

これから  
ワタシと吉●ティーチャーは  
一つになるね。  
ワタシの精子受け止めて  
もらうからね。よく  
見といてね。

さあ、そろそろ本番ね  
ミスターダンナもよく  
見といてね。





おおーイエス♡  
やっぱり  
サイコーに  
ワンダフルなお尻ね♡  
こりゃ、たまらないよ♡

もうガマンできないね！  
おおー・・・ぬるぬるのオまんこ  
サイコーに気持ちいいね  
吉●ティーチャーどうですか？  
ダンナの前でセックス気持ち  
いいでしょー？ いっぱい見せてあげましょう。



おお  
出る  
.....



END